

原 敬子

神学部 神学科 教授 (はら けいこ)



研究テーマ

実践神学、キリスト教司牧神学、宣教学

主な授業担当科目

宣教学、宣教学特講Ⅰ・Ⅱ、宗教科教育法、キリスト教人間学など

学歴・職歴・取得学位・受賞歴

1990/03/26 広島大学教育学研究科 修了 修士(教育学) ■2006/11/07 パリカトリック大学 Master en Théologie 神学修士 ■2012/03/31 上智大学神学研究科博士後期課程満期退学 ■2016/03/31 上智大学神学研究科 博士(神学)

主な著書・論文等

「C. ジェフレにおける解釈学的神学と証言」『日本カトリック神学会誌』第19号(共著)、2008年。■「カテケージスという言葉—よき知らせが響き渡るために」『福音宣教』(全22回連載)、2006年-2008年。■「キリスト者の証言の解釈学的前提—P. リクール「啓示の解釈学」を参考に」日本カトリック神学会第25回学術大会発表、2013年。■『キリスト者の証言—一人の語りと啓示に関する実践基礎神学的考察』、教文館、2017年。■『「若者」と歩む教会の希望—一次世代に福音を伝えるために2018年上智大学神学部夏期神学講習会講演集』編著、日本キリスト教団出版局、2019年。〔翻訳〕『愛と喜びに生きる: 奉獻生活者たちのあかし』「奉獻生活」編集委員会、ドン・ボスコ社、2020年。『正義と平和の口づけ: 日本カトリック神学の過去・現在・未来』日本基督教団出版局、2020年。『「いのち」のカー教皇フランシスコのメッセージ』キリスト新聞社、2021年。

所属学会

上智人間学会、日本カトリック神学会、日本基督教学会

教育・研究活動

教育への関心は、20代、瀬戸内に浮かぶ小さな島で中学校教員からスタート。修道女になってからは、「信仰と教育」の関係性に関わる研究活動をしています。また、「キリスト者の証言」を資料とする神学を構築する試みをやっています。

社会的活動

宗)カトリック煉獄援助修道会会員(1995～)、オリエンズ宗教研究所発行『福音宣教』編集委員(2009～)、(財)真生会館評議員(2010～)、日本基督教学会学会誌編集委員(2020～)

趣味・学生に伝えたいこと

趣味は音楽・落語鑑賞(ジャンル問わず、面白いと思ったものはなんでも)。三味線の初心者、新しい楽器を学ぶのは楽しいですね。大学時代は自分の人生の真珠を探す時期ではないでしょうか。根本的な問いが生まれる時期でしょう。良い旅を!

URL、E-mail、連絡先

E-mail: keiko.hara@sophia.ac.jp